

2024年12月19日
アイティップス株式会社

「安心・安全な運転教育」で日本とインドを繋ぐ！
全国初！建設分野特定技能外国人向け自動車教習プログラム
「oyakataドライブ(仮称)」の開発実証実験をスタート！

～七尾自動車学校(石川県七尾市)と包括提携契約を締結～



インドで建設における特定技能外国人の育成から日本での生活支援まで一貫した体制を目指すアイティップス株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:クマール ラトネッシュ、以下アイティップス)は、石川県七尾市で通学&合宿免許事業や企業向けの交通教育コンサルティング事業に取り組む有限会社七尾自動車教習所(本社:石川県七尾市、代表取締役:森山 明能、以下七尾自動車学校)と連携し、建設分野の特定技能外国人を対象とした外国免許切替対策と日本の交通文化を学ぶ講習「oyakataドライブ(仮称)」を開発するプロジェクトを始めました。

本プロジェクトでは、アイティップスが運営するインドの職業訓練校を卒業した人材を対象とし、日本の交通文化と安全意識を深く理解した安心・安全なドライバーの育成を目指します。まず第一歩として、同訓練校に在籍する生徒をインドから招き、12月16日～20日に七尾自動車学校にて実証実験を実施。そして、本実証結果を踏まえ、2025年4月までに連携型人材育成プログラム開始を計画しています。また、本プロジェクトに合わせてアイティップスと七尾自動車学校は包括提携契約を結びました。

本プロジェクトの背景と目的

日本政府は、建設分野において深刻化する人手不足に対応するため、令和10年度(2029年)までに、上限約8万人の特定技能外国人の受入れを計画しています。専門性・技能を生かした業務に即戦力として従事する外国人を受け入れることで、同分野の存続・発展を図り、日本の経済・社会基盤の持続可能性を維持することがその狙いです。

こうした制度を通じて来日する外国人の受け入れが進む中で、彼らが日本の交通ルールや文化に適応し、安全に運転を行うための適切な教育が求められています。特に、建設業においては、他業種と異なり、勤務地が現場毎に異なります。そのため、特定技能外国人は勤務地まで移動するために運転が求められる可能性が高く、他業種に比べて運転機会が増す傾向にあります。しかしながら、特定技能外国人の中でも自動車運送業分野(トラック、タクシーの運転手等)を除き、安全かつ安心を担保できるドライバーとしての十分な教育が行き届いていないのが現状です。

このような背景を踏まえ、アイティップスでは七尾自動車学校と共同して建設分野特定技能外国人に特化した自動車講習プログラムを開発し、業界のニーズに応えるとともに、日本の交通文化を学ぶ機会を創出し、交通安全に寄与する新しい取り組みを開始しました。

実証実験の内容

- 期間: 2024年12月16日(月)～20日(金)
- 場所: 七尾自動車学校及び周辺の公道(国際免許にて運転トレーニングを実施します)
- 内容:
七尾自動車学校が事前開発した専用カリキュラムの試験運用及びその効果についての検証

「oyakataドライブ(仮称)」概要

- ①外国免許切替の基礎講習:
インドで取得した運転免許を日本の運転免許に切り替える際に必要な基礎的な知識と運転技術の指導・トレーニング。
- ②交通文化の教育:
日本特有の交通マナーや道路ルール、地域社会での振る舞い方を学ぶカリキュラム。
- ③安全運転の徹底:
事故防止に向けた危険予測トレーニングや安全運転意識の向上を目的とした講習。
- ④日本免許取得後のフォローアップ:
オンライン学習プログラムや一定期間後の再教育機会の提供をすることで、教育効果の維持・継続を行う。

「oyakataドライブ(仮称)」における両社の役割

oyakataドライブでの2社の役割 (検討中)



共有する価値観「わが子の通学路を安心して運転できるように」

「すべてのがんばる人に、幸せを」をミッションとするアイティップスと、「生涯無事故の幸せをゲストに提供します」を事業理念に掲げる七尾自動車学校が共有するのは、日本に来る外国人が安心して日本の社会に馴染むまでの支援を行うこと。異国で生活すること、ましてや異国で自動車を運転することは容易なことではありません。本来、仕事や生活を助けるはずの自動車運転という行為が日本社会の脅威にならないように、インドと日本の互いの学校拠点を活用し、伴走支援を実行していきます。

今後の展望

本プログラムは、建設業に限らず、幅広い分野での活用が期待されます。特にインドでの人材育成と日本国内での実務適応を一貫してサポートすることで、特定技能制度のモデルケースとして位置づけたいと考えています。また、七尾自動車学校との連携を通じて、地域社会との協働による人材育成の可能性も模索しています。

アイティップスは、引き続き「すべてのがんばる人に、幸せを」というミッションのもと、一人ひとりの人生に寄り添い、国境を越えた持続可能な人材育成の実現に向けて挑戦を続けます。



アイティップス 代表取締役 クマール ラトネッシュよりコメント

建設分野における特定技能外国人は、日本社会を支える重要な存在です。しかし彼らが直面する課題の一つに、日本の交通文化や安全運転への適応があります。勤務地が毎回異なる建設業では、運転機会が非常に多く、適切な教育が欠かせません。

私たちは『すべてのがんばる人に、幸せを』というミッションのもと、この取り組みを通じて日本社会に貢献し、安心して働ける環境を提供したいと考えています。生徒を育てて下さる温かい七尾自動車学校の皆様と連携し、免許切替の対策にとどまらず、日本の交通文化や安全意識を深く学べるプログラムを構築することで、日本とインドを繋ぐ新たな価値を創出して参ります。この取り組みを通じて、安心・安全な運転教育が国境を越えた価値となり、日本とインド、そして世界を繋ぐ架け橋になることを目指していきます。

七尾自動車学校 代表取締役 森山明能よりコメント

現在、教習所業界では特定技能外国人の免許需要の高まりに合わせて外国免許切替の講習や外国人の教習所への通常入校が増えています。そのような中で特に外国免許の切替についてはその合格率の低さから、今後特定技能外国人の日本国内への更なる流入に向けて足かせとなってしまうことが懸念されています。では、合格率を上げるだけでよいのか？答えは否です。

異国の地・日本で運転を行うには、運転技能やそれに関する知識を得るだけでは足りません。その土地の交通文化を学び、その国に住む人々の安全意識と同レベル以上に意識を向上させる必要があります。その結果が無事故に繋がると信じています。今回アイティップスとはそういった価値観を共有できたことでプロジェクトをスタートさせることができました。

インドからやってくる希望溢れる人材の皆さんが、日本で無事故で幸せを享受し、受け入れる日本の交通社会側も安心して特定技能外国人の皆さんと働くことができる。そんな日本の交通社会のあり方に寄与するプロジェクトにしていきたいと思っています。

以上